

全国漁業信用基金協会 和歌山支所

1 和歌山県の紹介

和歌山県は日本最大の半島である紀伊半島の南西部に位置し、古来「木の国」と謳われたほど森林が占める割合が大きく、奈良県や三重県に跨る紀伊山地から紀伊水道や熊野灘に接する海岸線に亘り、山、川、海の雄大な自然が広がっています。

県の北部地方には鉄鋼、石油、化学工業が集中しており、この分野で製造総出荷額の約7割を占めていて、このほか地場産業も古くから栄え、繊維関連産業をはじめ日用家庭用品など全国シェアが高い産業も数多くあります。

農産物等では、年間を通して比較的温暖な気候のため県全域で果物や野菜、花きなどが栽培されており、中でも、みかん、梅、柿、はっさく、セミノール（柑橘）、グリーンピース、スターチス（花）、いちじく、山椒、じゃばら（柑橘）などが全国生産量1位となっています。また、和歌山県が発祥の郷土の食材や料理も多く、中でも醬

油、金山寺味噌、茶がゆ、めはり寿司、さんま寿司などがよく知られています。

観光名所をみると、世界遺産の自然崇拜の聖地熊野三山、熊野古道、弘法大師空海が開いた高野山や日本三古湯のひとつ白浜温泉、日本三美人の湯のひとつ竜神温泉、熊野三山散策の拠点勝浦温泉などが有名ですが、ほかにもレジャー施設や景勝地など魅力的な観光スポットが数多くあり、年間約29百万人の観光客が訪れています。

最近では、本州最南端の串本町に商業宇宙輸送サービスの提供を目的とした日本初の民間ロケット発射場が建設され、宇宙産業の発展とともに和歌山県への経済波及効果も期待されているところであり、大きな注目が集まっています。



温州みかん



めはり寿司



高野山（大門）

2 和歌山県の水産業

南北に長い和歌山県に接する海域は、和歌山県、徳島県、兵庫県淡路島によって囲まれた瀬戸内海域に属する紀伊水道とその水域以南の太平洋に二分され、それぞれの

海域の特性に応じた漁法により漁業が営まれています。

紀伊水道では、たちうお、しらす、たいなどを対象として小型底曳網漁業、船曳網

漁業、一本釣漁業などが営まれ、一方太平洋海域では黒潮の影響を受けて、かつお、まぐろ、ぶり、あじ、さばなどを対象としてひき縄釣漁業、はえ縄漁業、一本釣漁業、まき網漁業、定置網漁業、棒受網漁業、刺し網漁業や海面養殖など各種漁業が営まれています。また、内水面では、紀伊山地から流れる清流に恵まれた河川が多く、伏流水を利用して、あゆ、あまご、うなぎなどの養殖が営まれています。

主な全国生産量ランキング（令和4年）をみると、海産哺乳類が1位、いせえび、養

殖あゆが3位、たちうおが5位、養殖くろまぐろ、養殖まだいが6位などとなっています。また、勝浦漁港は生まぐろの水揚量全国1位となっており、県内外のまぐろ船の水揚げ拠点として重要な役割を担っています。

漁業情勢は、漁業者の高齢化や担い手不足により漁業就業者数は年々減少し、また近年は海水温の上昇が漁獲高に影響を及ぼすなど漁家経営は益々厳しさを増しているところ、和歌山県では、「時代の変化に対応できる収益性の高い水産業」の実現に向けて、各種施策を推進しています。



小型底曳網船



紀州紀ノ太刀



勝浦市場（まぐろ）

3 和歌山支所の概要

- 住所：和歌山県和歌山市雑賀屋町東ノ丁 30 番地
- 電話番号：073-432-4800
- 代表者：理事兼運営委員長 嶋田 栄人
- 会員数：245 会員
- 出資総額：1,490,900 千円
- 保証残高：188 件 1,395,499 千円
- 役職員数：4 名
(令和5年度末現在)



まぐろ 造り

4 和歌山支所の今後の取組

当支所は、昭和の遠洋・近海まぐろ船に対する保証が急増した時代から、平成に入ってからには主に沿岸漁業への保証へと移り変わり、現在に至っています。

最近の主な保証としては、漁船リース事業や機器導入事業などの設備資金や漁業経営の安定化を支援する県制度資金の漁業振興資金などとなっていますが、厳しい漁業

情勢を反映して保証需要も減少傾向にあります。

今後におきましては、引き続き県や系統機関、金融機関と連携を図りつつ保証機関としての役割を的確に果たし、県下の漁業者皆様の期待に応えられるよう取り組んでまいります。